

せいらんそう

社会福祉法人
会誌号
香報 4
第 2008年2月発行



障害児（者）地域療育等支援事業では、毎年「障害者交流会」を実施しています。写真は参加者が担当者からのレクリエーションの説明を「これから何が始まるのかな？」と聞いている様子です。

もくじ

CONTENTS

『雑感』・・・・・・・・・・ 2
地域生活を支える
『障害児（者）
地域療育等支援事業』
事業全体の概要・・・・・・・・ 2
具体的な事業内容・・・・・・・・ 3
自立支援
アルミ缶リサイクル・・・・・・・・ 4

生きがい支援
ファッションショー・・・・ 4
（ねんりんピック）
仲間（なかま）
世界の仲間から学ぶ・・・・ 5
（海外研修）
日本の仲間とともに・・・・ 5
（福祉村サミット）

新しい仲間を迎えて・・・・ 5
（歓迎ボーリング大会）
芳香会活動報告・・・・・・・・ 6
芳香会スケジュール・・・・ 6
編集後記・・・・・・・・・・ 6



雑 感

事務局長 宇留野光子

福祉事業を開始し三十七年目を迎えました。それぞれの事業を継続していくことの重さを年を追うことに痛感しています。それと同時に【社会福祉法人の使命】を常に肝に銘じ、日々の仕事に取り組んで行くことが、如何に重要であるかを改めて思いなおすこの頃です。

さて最近の出来事ですが、二つの小さな喜びがありました。

一つは、二十年度採用予定者の親睦会においてグループ討議の時間を設けましたが、予想より積極的な意見の交換ができ、発表内容もきちんとまとめられ、少し安心しました。【自己表現の重要性・相手の意見をきちんと聞く】このことはとても大切なことであり、社会人としての基本を培っていくことにもつながると考えます。

二つ目は、開始間もないアルミ缶回収活動ですが、近隣の商店の方や企業の方のご協力を得られることになり、お蔭様で障害者と元気な高齢者の方の作業時間がより充実しそうです。地域の方々のご好意に感謝いたします。

この二つに共通するのは【人（ひと）】と【のかかわり【協同】】の大切さです。この喜びを忘れぬよう明日にむかいます。

地域生活を支える

障害児(者)

地域療育等支援事業

芳香会の「芳香会病院青嵐荘療育園」では、地域の中で生活する障害児(者)の暮らしを支えるため、平成十一年十一月から、茨城県より「障害児(者)地域療育等支援事業」の委託を受けて、事業運営をしています。

この事業は、茨城県の実施する地域生活支援事業の一つとして、現在県内十ヶ所の事業所が委託を受けており、具体的に実施している内容は事業所によって様々です。

また、障害福祉圏域ごとに事業所の担当地区が分けられているため、利用できる事業所は基本的にお住まいの市町村によって異なります。尚、芳香会の担当は古河市・坂東市・境町・五霞町です(その他市町村の方は、必要によりご相談に応じます)。

今回は、障害児(者)地域療育支援事業の概要についてご案内した上で、芳香会病院青嵐荘療育園が実施している具体的な事業内容のご案内をさせていただきます。

事業全体の概要

この事業は、障害のある人の地域生活支援のため、専任のコーディネーターが相談に応じる

とともに、各種福祉サービスの利用調整を図ります。また、療育に関わる各種専門家による専門的な療育指導を行う事業です。

事業の利用は基本的に「登録制」となっており、登録及び利用料は無料です(内容により材料費などを負担して頂く場合があります)。また、事業の内容は大きく四つに分類されます。

(一) 在宅地域生活支援事業

相談受付を担当する職員(コーディネーター)により、在宅生活をしている障害児(者)及び保護者等の相談に応じるとともに、各種福祉サービスや関係機関の調整等を行います。

(二) 在宅支援訪問療育等指導事業

施設(法人内各施設含む)の専門職員により、相談・指導を希望される在宅の障害児(者)や保護者に対して、「ご自宅などに巡回訪問して各種の相談・訓練などの支援を行います」。

(三) 在宅支援外来療育等指導事業

施設(法人内各施設含む)の専門職員により相談・指導を希望される在宅の障害児(者)や保護者に対して、施設に直接来て頂き、各種の相談・訓練などの支援を行います。

(四) 施設支援一般指導事業

保育園や幼稚園・小中学校や福祉施設等の職員に対して、障害児(者)の療育に関する相談を受けたり、技術のアドバイス等を行います。

以上、障害児(者)地域療育等支援事業に関する概要になります。



具体的な事業内容

では、芳香会病院青嵐荘療育園で実施している主な支援内容を具体的に紹介致します。

(一) 毎月定期的の実施(定員制)

外来訓練会(個別訓練)

月二回(土曜日)、芳香会の地域交流ホームにて、運動・認知・社会性などの課題を持つ障害児に対し、理学療法士や作業療法士が個別訓練を実施したり、保護者に対して関わり方のアドバイスを発行ったりしています。



訪問リハビリテーション(定員制)

一人当り月二回程度、事業所への来所が困難な障害児(者)を対象に、ご自宅などに訪問して理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションや療育に関するアドバイスを実施します。

心理・発達相談会(定員制)

月一回(月曜日)、芳香会病院青嵐荘療育園の相談室や来所が困難な方はご自宅に訪問して、障害児(者)や発達に遅れのある児童やその保護者・関係機関の職員などを対象に、臨床心理士が心理・発達に関する相談を受けたり、対象児・者の必要性に応じて個別指導を実施したりしています。



(二) 年間行事として実施
夏期休暇 外来訓練会

養護学校等の夏期休暇期間中、理学療法士・言語聴覚士などによる集団訓練を実施しています。

今年度は八月中に四回実施し、延べ二十二名の方に参加して頂き、工作や感覚遊びなどを実施しました。



夏期休暇 療育指導事業

養護学校等の夏期休暇期間中、児童指導員などが(一)のご利用者並びに保護者を対象に、集団での運動や個別課題など、親子で活動する場を提供しています。

今年度は七月八月に六回実施し、述べ三十九名の方に参加いただきました。
障害者学習会・交流会



年に二回程、登録者や地域にお住まいの障害者を対象に、交流会や学習会を開催しています。
今年度は九月に交流会をしてボウリング大会を実施し、十二名の方に参加頂きました。三月にも交流会を予定しています。

保育士・幼稚園教諭研修会

年に二回程、近隣保育園・幼稚園に勤務する保育士・幼稚園教諭を対象に、臨床心理士による研修会を実施しています。

今年度は五月に実施し、十九名の方に参加頂きました。次回は二月二十三日(土)に開催予定です。

(三) ご要望に応じて実施
各専門職による施設支援一般指導

臨床心理士や理学療法士・作業療法士などが保育園や幼稚園・小中学校等に訪問し、障害児・者の療育に関する相談を受けたり、技術のアドバイス等を行います。

今年度(二月現在)は、七ヶ所で実施しております。

コーディネートによる相談受付

ここでご紹介している事業全般の窓口並びに福祉サービスに関する相談受付を実施しています。ご利用者のご希望に応じて電話・来所・訪問の方法で随時受付しております。

以上、芳香会病院青嵐荘療育園で実施している障害児(者)地域療育等支援事業の内容になります。

この事業は開設以来八年が経過しました。事業が充実してきたのは、皆様にお気軽にご相談頂くことで、共に悩み考えてこられた結果であると感じております。今後も、皆様の暮らしを支える身近な事業の一つとして、ご活用頂ければ幸いです。

お問い合わせ先



【芳香会本部】

【障害児(者)地域療育等支援事業】

古河市上大野六九八

〇二八〇(九七)一〇二七

〔担当すわ〕

自立支援

リサイクル缶

昨今、福祉サービスは大きく様変わりし、その目的は「自立支援」へと転換されてきています。また、近年では環境問題が大きく取り上げられ、「環境保護」についても真剣に取り組むことが社会全体に課されています。

このような社会情勢を鑑み、芳香会でもご利用者の「自立支援」と、世界規模の課題である「環境保護」を目的として、『アルミ缶リサイクル活動』を開始しました。

これまでは、青嵐荘養護老人ホームや知的障害者更生施設・青嵐荘路のとう舎、たま保育園が独自にリサイクル活動を行っておりましたが、ご利用者の日中活動の充実を図るために、作業内容を一新して、芳香会として各施設が協同で取組みを行うこととなりました。



芳香会内の九つの事業所において、ご利用者や職員が飲用した物のほか、職員やご利用者のご家族からも協力をいただいております。作業対象者は知的障害のご利用者や元気な高齢者の方が合同で結城市の養護老人ホーム敷地内で週三回、それぞれ二回と一回ずつ実施しております。作業方法は、つぶし可能な自動機械を使用せず、つぶし器を使用し、二人一組のペアで

行っております。

本格的に作業を開始してまだ間もないですが、徐々に効率よく作業を進められるようになってきたため、今後は近隣の自動販売機を設置されている商店主の方などにもご協力いただき、回収対象を拡大させていただくことになりました。



この活動を通じ、ご利用者の就業訓練や体力強化に繋がることを願いながら、職員も一丸となり取り組んでいます。

尚、アルミ再生業者へ納入し得られた収益金は、芳香会で協力している各種の募金活動や施設設備の整備等に使用させていただく予定です。

生きがい支援

ファッションショー (ねんりんピック)

近年、日本の六十五歳以上の高齢者人口の割合が二割を超え、更に今後、人口の最も多い「団塊の世代」が高齢者の仲間入りをしていくこととなり、高齢者の健康と生きがいづくりの活動が重要なテーマとなってきました。



そのような状況の中、国は高齢者の生きがいと健康づくりについての意識の啓発、豊かな経験を持った高齢者の社会参加の促進、世代や地域を越えた交流を通じ活力に満ちた長寿社会を実現することを目的として毎年「全国健康福祉祭（通称、ねんりんピック）」を開催しております。二十回目を迎える今回は茨城県内の二十一日町が会場となり十一月十日から四日間、行われました。

結城市では市民文化センター「アクロス」で『ファッションショー』が開催され、青嵐荘養護老人ホームのご利用者がモデルとして参加しました。この『ファッションショー』は、茨城県内の高校生がデザインした衣装を高齢者がモデルとなって紹介するということで、青嵐荘養護老人ホームの選りすぐりの美女三名がウエディングドレスを着て参加しました。



デザインを担当した高校生とともに三名の美女がステージ上に登場すると、場内には大歓声があがり、華やかな雰囲気の中で紹介されました。最初は少し緊張した様子でしたが、インタビューにも応え、立派にモデルを務めました。綺麗なお化粧し、お気に入りの服を身にまとい、多くの方々の前に立つと、誰しも気分が高揚します。人前に出ることが楽しくなります。付添った職員はそのことを改めて感じさせられました。施設での普段の生活においても、ご利用者が部屋の外へ、そして施設の外へ一歩踏み出し、生きがいを持って生活していただけるよう、支援していきたいと思っております。

仲間（なかま）

世界の仲間から学ぶ （海外研修）

芳香会では毎年、最新の福祉事情を学ぶために、職員を海外研修に派遣しています。

今年度は、青嵐荘療育園の高橋美奈子看護師が社会福祉法人福利厚生センターの海外研修に参加し、デンマーク、スウェーデン、イギリスの三ヶ国から学んできました。

研修には全国から二十三名の障害関係施設の職員が参加しました。特にスウェーデンでは、知的障害者のグループホームを視察し、入居者一人にずつにサポーター職員がつき、個別ケアが徹底していることを学びました。また、リハビリセンターでは「最高の環境で最高のリハビリを行う」という理念を掲げ、ご利用者の積極的な参加を促し、精神的にも自立することを目指した取組みに感銘を受けました。



歴史や宗教など、福祉を取り巻く環境の違いはあれど、福祉専門職として根本にある思いは万国共通です。今回の研修で学んだ最新の知識・技術を取り入れ、今後もより良いサービスを行ってまいります。



日本の仲間とともに （福祉村サミット）

福祉村サミットは、平成十三年に、愛知県にある社会福祉法人さわらび会が企画し開催されたのが始まりで、日本全国の多種類の施設を運営する社会福祉法人が年に一度、共通する運営課題や今後のあり方について直接、意見交換を行うために集うものです。

七回目を迎えた今回は、平成十九年十一月二十六日から二日間、鳥取県米子市の社会福祉法人こころほうえんで行われ、六道県から八つの社会福祉法人が参加し行われました。芳香会からも法人本部事務局長以下、四名の職員が参加しました。

二日間の研修においては、厚生労働省職員による行政説明のほか、参加している法人のうち、人材育成や生涯教育に力を入れている三法人から実践報告がありました。

出生率が低下し、人口減少社会に突入してしまつた現在、「人材」ではなく「人財」を育成するために力を注ぐことの大切さを学びました。先駆的な取り組みを行っている仲間から学び、地域社会の福祉に貢献するために、芳香会でも「人財育成」に積極的に取り組んでいきます。



新しい仲間を迎えて （歓迎ボウリング大会）

去る平成十九年十二月二十二日に、芳香会恒例の「歓迎ボウリング大会」が下総、ゴールドレーン（古河市）で開催されました。

毎年、芳香会に新しく仲間入りした新任職員を歓迎するために行われており、ボウリングの点数を競い、順位に応じて各施設長が厳選した景品が贈られます。但し、ユニークなのは、必ずしも高得点者が良い景品をいただけるのではなく、景品を贈呈する施設長のラッキーナンバーや年齢、その日の気分などで選んだ数字に合致した順位の方が景品を得ることができ、表彰式はゲーム以上に盛り上がりまふ。

また、今回は、芳香会で永年にわたり勤務している障害者職員も参加し、一緒にボウリングを楽しみました。そして、その後の表彰式では、就業年数が五年以上の四人（男性二人、女性二人）の障害者職員に対し、法人本部事務局長より永年勤続の表彰が行われました。

表彰状の授与の際、四人ともはにかんでいた表情がとても印象的でした。これからも働く仲間の一員として、よろしくお願い致します。



芳香会活動報告

内定者親睦会

平成二十年度新任職員が決まりました

平成十九年十二月二十六日に内定者親睦会を実施しました。参加者は二十年四月より当法人に勤務が決定している学生さんです。この親睦会では、内定者同士の交流を図り、芳香会の雰囲気を感じて頂き円滑に入職して頂く為に実施しています。討論会では働くという意味を障害者、健常者双方の立場から考えてもらい、活発に意見が交わされました。また、本来は車いすの方の競技であるトリムバレーでは、椅子に座ったままで試合を行い、昼食



は実際に施設で調理したお弁当を用意する等、ご利用者の立場で体験して頂きました。今回自己紹介カードを作成しましたが、皆さんに早く馴染んで頂けるよう、後日、配属事業所に掲示しますのでどうぞご覧下さい。四月からの活躍が楽しみです。

【内容】

- 一、ビデオ学習「働く仲間」
(芳香会制作障害者雇用ビデオ)
- 二、討論会
「働くということ」
- 三、自己紹介カード作成
- 四、レクリエーション
「自己紹介ゲーム」
- 五、レクリエーション
「トリムバレー」



ピンクのリボン運動

乳がんの早期発見を願って

芳香会では「乳がん予防啓発事業」のひとつとしてピンクのリボン運動に参加することとしました。ピンクリボンとは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを訴えるシンボルマークです。この運動は一九九一年アメリカで始まりました。乳がんを早期発見し、乳がんで亡くなる方を一人でも減らそう、また、乳がんになっても死ななかつた女性たちがこの病気を乗り越え克服できるようなサポートしようと言う願いを込めているものです。現在、わが国では一年間に四万人の女性が乳がんを診断されています。そして、多くの方が不安やつらい治療を乗り越え、立派に社会生活に戻っています。私たちは芳香会で働く女性が安心して仕事を続けられるよう、また世界中の女性が、乳がんで命を落とすことがなくなるよう祈っています。多くの女性がこの運動に賛同しバッチをつけていただくと幸いです。

芳香会スケジュール

- 三月六日、七日 内定者研修会
- 八日 役員会
- 二十六日 ケアホーム内覧会
- 二十七日 ケアホーム内覧会 & オープニングセレモニー
- 二十九日 二十年度内定者入社式 & 辞令交付式



ホームページをリニューアルしました

* アドレスは下記をご覧ください。

編集後記

インフルエンザが猛威をふるっています。夏の猛暑・冬の寒波それでも関東のこの地域では緩やかな方ですね。ところでテレビの【日本全国・県民性の比較番組】をご存知ですか？毎回楽しく見ているのに生活の仕方の違いがあるとは思いませんでした。是非一度ご覧下さい。抱腹絶倒間違いなしです。(光)

新しい年が幕を明けました。今年は洞爺湖サミットもあり、環境問題への関心が高まりそうです。紙タオルや割り箸を使わないためのハンカチとお箸の携行。まずは出来ることから始めます。(酒)

入職して数ヶ月、元気で働ける事、周りの方達への感謝を忘れない様、毎日頑張っています。これからも元気で働ける事を願って、私もピンクリボンバッチを付けます。(房)

社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp



写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。